

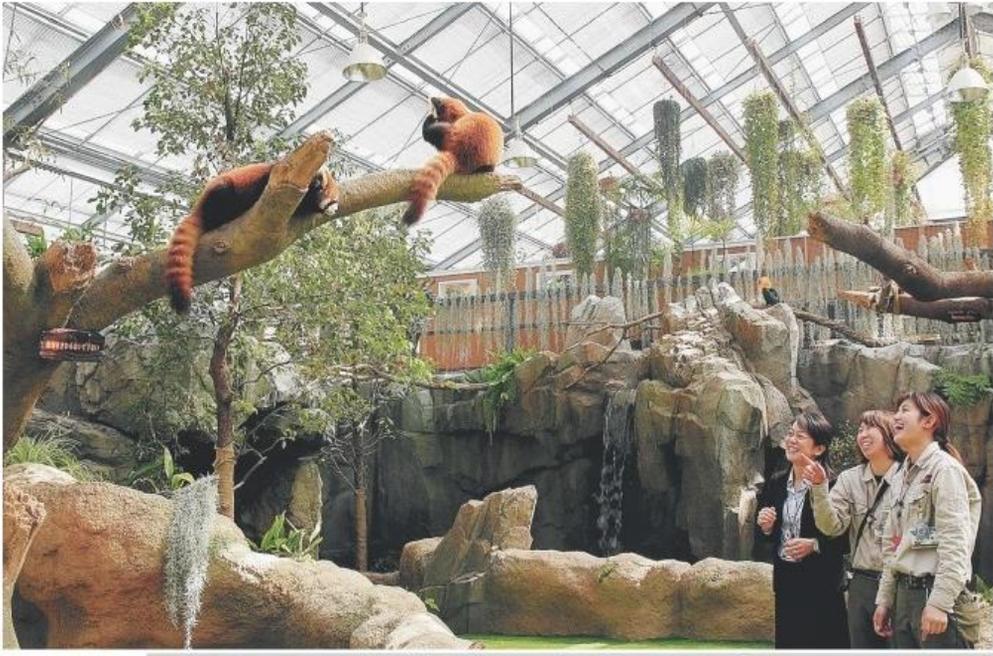
神戸・どうぶつ王国

新エリア、19日に開園



神戸・ポートアイランドの観光施設「神戸どうぶつ王国」に19日、新エリア「アジアの森」が登場する。東南アジアをイメージした展示で、樹上を移動するレッサーパンダやコツメカワウソなど4種類の動物の生態を間近で楽しめる。

(鈴木雅之)



動物の表情、身近に楽しむ

アジアの森 出現

広さ約400平方メートル。通路の両側には水路を設け、竹やアジア原産の植物などを配した。レッサーパンダの木登りやジャコウネコ科のピントロングが樹上や岩場部分で横になったりする様子を観察することができる。

ほかに、コツメカワウソが水辺で動き回り、大きなくちばしと黄金色の首もとが特徴的な2羽のつがいのパプアシワコブサイチョウがエリア内を飛ぶ。同施設によると、繁殖行動が見られるといい、成功すれば国内の動物園では初という。

担当者は「すぐ目の前で、かわいらしい動物たちのリアルな姿を楽しんでもらいたい」と話している。



④神戸どうぶつ王国で19日に登場する新エリア「アジアの森」。木の上のレッサーパンダを間近に見られる。いずれも神戸市中央区港島南町
⑤水辺のコツメカワウソ

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① 「神戸どうぶつ王国」は、どこにありますか？

② 「神戸どうぶつ王国」に新エリア「アジアの森」が登場します。そこで見られる4種類の動物の名前を答えなさい。

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。

Large empty rounded rectangle for writing answers to questions 1, 2, and 3.